

【学年】 第3学年	【教科・単元名など】 社会「見なおそうわたしたちの暮らし ～店を調べに行こう～」
【実践内容】 本単元では、まず各自が家庭で買い物調べを行った。「どこの店でどんな物を購入したのか」「売り場でどのような工夫がされていたのか」といったことを調べてきて、それを表やグラフにまとめたり、店の位置を地図に表したりした。その結果、スーパーマーケットでの買い物をすることが一番多いという結果が出て、実際にスーパーマーケットに行って、売り方の工夫を見てみようということになった。そこで、実際に見学に行く前に、子どもたちの知的好奇心を高めるために、お客さんがたくさん来てくれるようなスーパーマーケットを設計してみることにした。 まず、子どもたち一人ひとりがスーパーマーケットの店長になったつもりで、ワークシートに商品の配置などの工夫を考えた。子どもたちは、自分が店長になって、店を設計することが非常に楽しかったようで、自分のお店づくりに熱中していた。 そして、それぞれが考えた案を持ち寄り、グループで1つのスーパーマーケットを設計する作業を行った。この中で、売り場の工夫について、互いに自分の意見を出し合い、よりよいスーパーマーケットを作り上げていった。この時間が、子どもたちの学び合いが一番活発に行われた場面となった。 それから、グループごとに自分たちのスーパーマーケットで工夫したところを学級全体の前で説明させ、聞き手には、質問事項やどういう点がよかったかを記録させた。最後に、どのグループの考えたスーパーマーケットに買い物に行きたいか投票を行った。	
【反省】 当初の予定では、個人での店作りに1時間、グループでの店作りと発表に1時間の予定であったが、どちらも2時間ずつ使うことになってしまった。グループごとの発表と投票を授業参観にあて、実際によく買い物に行く保護者の方にも投票してもらう計画であったが、予定が狂ってしまったのが残念だった。 子どもたちの話し合い活動は、“考えを深める”というレベルまでは到達しておらず、“考えを広げる”という段階である。しかし、年度初めの頃は、少数意見だとなかなか言い出せなかった子どもたちが多かったが、少しずつではあるが自分はどう思うということを言えるようになってきた。子どもたちの中には、自分の考えをしっかりと持っている子が増えてきていると感じている。発表の中で、多様な意見が出てくるようになり、話し合いが活発に行われる場面が出てきた。	

